

広島県三次市に 日本初の 妖怪博物館が誕生。

三次市が舞台となった
妖怪物語《稲生物怪録》とともに、
絵巻や錦絵、焼き物など
約5,000点の妖怪資料から
厳選して展示します。
これらは民俗学者で
妖怪研究者でもある
湯本豪一さんから
寄贈を受けたもので、
日本最大級の
妖怪コレクションとして
高い評価を受けています。



ご利用案内

開館時間	9:30~17:00 (入館は16:30まで)	
休館日	水曜日 (休日の場合は翌日) 年末年始(12月29日~1月3日)	
観覧料金	大人	600円(480円)
	高・大学生	400円(320円)
	小・中学生	200円(160円)
	()は20名以上の団体料金	
	※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者及びその介助者(1人に限る)は、手帳のご提示で入館料が無料となります。	

アクセス



- ▶ JR 芸備線快速(広島駅→三次駅)約1時間20分
- ▶ JR 芸備線普通(広島駅→三次駅)約1時間50分
- ▶ 高速バス(広島BC→三次もののけミュージアム)約1時間30分
- ▶ 自動車(山陽道~中国道経由)約1時間10分
- ▶ 広島空港から ▶ 高速バス(広島空港→三次駅前)約1時間20分
- ▶ 福山から ▶ JR 福塩線(福山駅→三次駅)約2時間45分
- ▶ 自動車(山陽道~尾道自動車道経由)約1時間15分
- ▶ 大阪から ▶ 高速バス(新大阪駅→三次駅前)約4時間55分
- ▶ 松江から ▶ 自動車(山陰道~松江自動車道経由)約1時間20分
- ▶ 三次駅から ▶ 自動車で約5分 ▶ 徒歩で約30分



構造	鉄骨造2階建
延床面積	1,132㎡
施設	1階 エントランスホール、受付、ミュージアムショップ、コインロッカー
	2階 会議室、研修室、作業室等

お問合せ 湯本豪一記念 日本妖怪博物館
(三次もののけミュージアム)

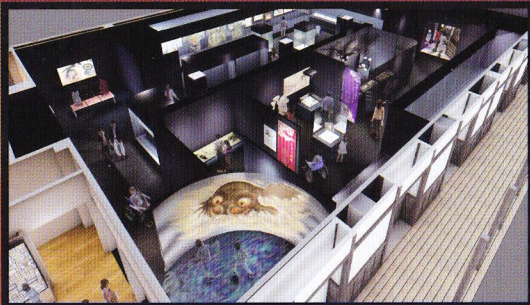
広島県三次市三次町1691番地4
TEL 0824-69-0111 FAX 0824-69-0112
HP <https://miyoshi-mononoke.jp/>

日本の妖怪、
三次に大集合!

YOKAI

妖

湯本豪一記念
日本妖怪博物館
三次もののけミュージアム
Yumoto Koichi Memorial JAPAN YOKAI MUSEUM
Miyoshi Mononoke Museum



日本の妖怪

人智を超えた自然現象に対する畏怖や、心の不安から生み出されてきた妖怪。絵画や書籍、日用品、玩具などから、妖怪が人々の生活に密接に関わってきた様子を紹介します。



企画展示室

湯本豪一氏から寄贈を受けた妖怪コレクションを中心に、様々なテーマによる企画展示を開催します。

妖怪カメラ
妖怪に変身したり、妖怪と一緒に記念撮影をして、SNSでシェアできます。



teamLab
チームラボ★
妖怪遊園地
teamLab★Yokai Park

みんなの描いた妖怪がスクリーンで動きだす、インタラクティブな作品を体験しながら学べる空間。妖怪の存在をより身近に、面白く感じることができます。

エントランスホール



デジタル妖怪大図鑑

大画面でたくさんの妖怪を体感できるギャラリーで、大型タッチモニターには、空間いっぱいに次々と妖怪が現れます。気になる妖怪の写真にタッチすると詳細を見ることができるので、より気軽に妖怪に触れるきっかけをつくり、新しい発見と学びを生み出します。

※パースはイメージです。

《稲生物怪録》

稲生物怪録とは、江戸時代に実在した広島藩士の稲生武太夫が平太郎と名乗っていた少年時代に30日間にわたって現れる様々な妖怪や怪異に耐え抜いたとされる物語です。博物館では三次市内に残る絵巻等を展示し、そのオリジナルストーリーあふれるストーリーや物語の変化などを紹介します。



「稲生物怪録絵巻(堀田家本)」個人蔵(三次市教育委員会寄託)

稲生物怪録

江戸時代の三次を舞台とした妖怪物語《稲生物怪録》。本や絵巻を中心に、実在した主人公とその歴史背景、伝播し続ける物語の魅力を紹介します。